

平成 3 0 年

高 松 市 教 育 委 員 会 4 月 定 例 会

会 議 録 (抄本)

4月19日(木)開会

4月19日(木)閉会

出席した教育長及び委員			
教 育 長	藤 本 泰 雄		
委 員	吉 澤 潔		
	藤 本 英 子		
	葛 西 優 子		
	関 元 盛 夫		
	小 方 朋 子		
欠席した教育長及び委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	赤 松 雅 子		
教育局次長 総務課長事務取扱	石 原 徳 二		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	南 岳 志		
学校教育課長	久 保 朗		
保健体育課長	合 田 伸 太 郎		
生涯学習センター館長	佐 野 健 市		
総合教育センター所長	篠 原 隆 則		
高松第一高等学校校長	中 條 敏 雄		
高松第一高等学校 事務長	滝 本 正 昭		
こども園運営課長補佐	藤 井 美 紀		
総務課長補佐	西 村 福 和		
総務課総務係長	牧 野 小 織		
会議録署名委員	関 元 盛 夫		
事務局担当書記	藤 澤 由 美		

【特記事項】 傍聴人なし

議 事 日 程（４月定例会）

- 日程第 1 議案第 14 号 高松市教育委員会教職員の働き方改革プランについて
- 日程第 2 議案第 15 号 高松市学校結核対策審議会委員の委嘱について
- 日程第 3 議案第 16 号 高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について
- 日程第 4 報告事項
- 1 平成 30 年度幼稚園、小・中学校及び高松一高の園・学校訪問について
 - 2 スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の平成 29 年度研究成果の報告について
- 日程第 5 議案第 17 号 高松市就学指導委員会委員の委嘱について
- 日程第 6 報告事項
- 3 高松・木田・香川採択地区協議会の運営について

【平成30年4月19日（木） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に関元委員を指名。

日程第1 議案第14号

議案第14号 「高松市教育委員会教職員の働き方改革プランについて」

学校教育課長から、香川県の教職員働き方改革プランを受けて、本市の教職員の働き方改革を進めるために、実施計画を策定することについて説明。

<質疑>

- 委 員 1 ページ目の目標ですが、目標数値が分かりにくいように感じます。「時間外勤務が月80時間を超える教職員をゼロに。」とありますが、80時間より、もう少し短い時間設定にはしないのですか。
- 学校教育課長 一般的に過労死ラインとなっているのが月80時間となっていますので、このラインを超えるものはゼロにしたいという意味合いです。
- 委 員 赤いライン以上が、月80時間を超えている職員ということですが、この超えているところの方をなくすよう考えていると思いますが、このあたりが達成されると、もう少し目標数値を減らす方向で考えていくということですか。
- 学校教育課長 はい。月80時間に達していない職員についても、二つ目の目標であります、時間外勤務を25%以上削減していくような目標にはしています。
- 教 育 長 一度に適正な時間設定にできるといいのですが、現在の業務量等を考えますと、一度には難しいところがあります。まずは、過労死ラインを超えるところをゼロにする目標にしています。これは、県も同様です。また、時間外勤務を4分の1減らすという目標の方が分かりやすいのではないかとということで、このように設定しています。
- 委 員 分かりました。専門スタッフの配置ですが、平成30年度からスクールサポ

ートスタッフが新たに増えたとお聞きしましたが、何人配置されているのでしょうか。

- 学校教育課長 今年度からの事業になりますが、まだ配置はできておりません。国、県からの確定を待っている状況です。本市としましては、56名、学校規模ですと、児童の人数が200人以上いる学校という想定で要望しております。確定はしておりませんが、おそらく希望が叶うのではないかという見通しで、2校に1校以上は配置できる見込みです。
- 委員 スクールサポートスタッフの配置により、先生の業務負担は軽減されるのでしょうか。
- 学校教育課長 印刷や配布物の準備等を担っていただき、子どもたちと向き合う時間が多くとれるよう改善されればと思います。今年度、初めての事業になりますので、様々な問題点が出てくるとはと思いますが、改善しながら勤務時間短縮につなげていきたいと考えています。
- 委員 分かりました。
- 教育長 県の事業で、西部の学校で実施しているところがありますが、来られた方の特性によって変わってくるようです。例えば、教員OBの方であれば、採点業務を手伝っていただくことも可能ですし、パソコンが堪能な方であれば、事務補助のような形で教員を手伝っていただく等、どのような特性を持った方が来られるかにより業務も変わってきます。教員が担っていた幾つかの事務的なサポートをしていただけると期待しています。
- 委員 学校、また配置されるスタッフの特性により変わってくるということですね。
- 教育長 そうですね。
- 委員 最後のページの、出退勤時刻管理システムですが、以前は校務支援システムのアクセスにより出退勤が分かるようにとの話でしたが、今後はICカードを利用した、別の出退勤システムにするということですか。
- 総合教育センター所長 校務支援システムについては、別のものとして位置付けをしています。校務支援システムはパソコンに入っており、パソコンの開け閉めは、教員の仕事の特性上、出勤して必ず開けるというものではないため、出勤した時に、タイムカードのような形でICカードをチェックして、適正な時間管理ができるようにします。

- 委 員 他の職種でもそうですが、学校にいるから必ず仕事をしているとは限りません。実際に、どのくらい仕事をしているかはタイムカードでは分からないと思います。昨年、校務支援システムがいいのではないかと、一時話がありましたが、実際にはそちらがいいのではないかと思います。学校にいた時間と仕事をしていた時間は違うと思います。
- 学校教育課長 御意見を頂いた通りだと思います。5～6月頃まで試行期間としておりますので、全てを整理して、最終的な改善をしてみたいと思います。大きな目的は、働き方改革の意識を教員一人一人に持っていただくことです。出退勤時間を自分で確認することにより、少しでも意識改革ができればと思っております。全ての時間が勤務時間という捉え方はしない予定です。
- 委 員 自分の意志で休日出勤した場合等、タイムカードを通さず帰ることもありますので、暫く様子を見て検証する必要があると思います。
- 学校教育課長 はい。ありがとうございます。
- 委 員 先程のスクールサポートスタッフの件に戻りますが、人選はどのようになるのですか。
- 学校教育課長 人選につきましては、学校に依頼する予定です。想定しているのは、教員OBやPTA役員のOBの方等、ある程度、学校の事情が分かる方を人選するようにしています。
- 委 員 校務支援システムの活用で、業務が短縮されたとデータがありますが、平成28年3月というのは、前回のアンケート調査を行った時期ですか。
- 教 育 長 アンケート調査とは教職員の勤務状況調査のことですか。
- 委 員 はい。
- 教 育 長 それより以前のデータになります。
- 総合教育センター所長 校務支援システムにつきましては、平成24年度頃から段階的に進めております。今回の働き方改革の調査より前の段階でして、学校現場の評価としてアンケート調査をしたものです。
- 委 員 アンケート調査時点では、業務が短縮されていたということですか。
- 総合教育センター所長 はい。
- 委 員 分かりました。

- 教 育 長 通知表や指導要録とありますので、年度末の時期の業務が短縮されたということです。今回の勤務状況調査は6月頃ですので、校務支援システムの業務は反映されてない時期だと思います。
- 委 員 その部分が短縮にされても、別の業務がいろいろありますね。
- 委 員 留守番電話の設置は、何時頃からになりますか。
- 学校教育課長 学校にもよりますが、今のところ午後7時か8時頃の設定になるかと思っています。
- 委 員 午後8時ですと、まだ勤務している先生がいらっしゃるようになりますので時間短縮にはならないかもしれません。留守番電話のアナウンスが流れるようになっても、我々も慣れると時間が早くて大丈夫ではないかと思っています。緊急時は連絡がとれる体制にしておけばいいのではないのでしょうか。
- 委 員 留守番電話とありますが、用件を録音するのではないのですね。
- 学校教育課長 業務終了のアナウンスが流れるようになります。早めに業務が終われるよう校長会でも周知してまいります。
- 委 員 できるだけ早く退庁できるようにお願いします。
- 委 員 現在の緊急時の体制はどのようになっていますか。
- 学校教育課長 学校によりますが、携帯に連絡が入ったりしますが、緊急を要する事態になった時は、消防や警察の方から教育委員会や学校に連絡が入ります。
- 教 育 長 今後も見直しの必要がありますし、初めての事業もありますので、教育委員の皆様から様々な御意見を頂きましたので、進めていながら改善をしてまいりたいと思います。

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 議案第15号

議案第15号 「高松市学校結核対策審議会委員の委嘱について」

保健体育課長から、高松市学校結核対策審議会委員の委嘱について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第3 議案第16号

議案第16号 「高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について」

生涯学習センター所長から、高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第4 報告事項

報告事項1 「平成30年度幼稚園・小・中学校及び高松一高の園・学校訪問について」

学校教育課長及びこども園運営課長補佐から、平成30年度幼稚園・小・中学校及び高松一高の園・学校訪問について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項2 「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の平成29年度研究成果の報告について」

高松一高校長から、スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の平成29年度研究成果の報告について説明。

<質疑>

- 教 育 長 シート2のSSH対象となる特別理科コースの生徒は何名ですか。
- 高松一高校長 1クラス40人です。2年生に進級する時に成績によって入替えがあり42人となっていますが、基本は40人です。
- 教 育 長 アクティブラーニングの取組は、SSHの取組ではありますが、特別理科コースだけでなく、その他の生徒にも広げ全校で取組んでいると考えていいのですか。
- 高松一高校長 アクティブラーニングについては全生徒で取組んでおります。単なる一方的な講義式の授業から脱却して、生徒に考えさせるという授業を行っています。
- 教 育 長 一高で取組まれているSSHは、特別理科コースを担当している先生だけでなく一高全員の先生で取組んでいると考えてよろしいですか。
- 高松一高校長 はい。
- 教 育 長 シート4では、平成31年度で第2期が終わりますが、現時点で32年以降はどのようにお考えですか。
- 高松一高校長 まだ方向性は決まっておりませんが、32年度の次期申請に向けて進めていきたいと思っています。先程の御質問にもありましたが、現在の研究の方向性は、理系理数科だけにとどまらず全体で行っていますので、次期学習指導要領の方向性と

重なる部分が多いですので、本校としましても申請をして指定を受けることは有益であると考えています

- 委員 お話を伺い素晴らしい取組だと思いましたが、シート58の、7校のトップだとしましても24校中の9番目となりますが、上位8校との違いは何でしょうか。
- 高松一高校長 シート5に戻りますが、その中の研究者・技術者を目指す理系女子生徒育成プログラムの開発がまだまだ発展途上であるということ、またSSHの研究事業や成果を地域に発信し波及できているかということです。もう少し他校の教育に影響を及ぼすような取組をするよう、文部科学省から指摘を受けました。
- 委員 積極的にマスコミや広報を利用してアピールする必要があるかもしれませんね。
- 高松一高校長 その通りだと思います。今後、努力いたします。
- 委員 特別理科コースは42人とお聞きしましたが、男女比率はどうなっていますか。
- 高松一高校長 男女比率は、半々ぐらいです。本校全体で言いますと、男女比率は6対4の割合で女子が多いです。そのような中、理系コースを選択する女子生徒も多いです。
- 委員 研究チームを作り、一つのテーマを研究するということですが、そのメンバーも男女が混在しているということですか。
- 高松一高校長 はい。2年生では、それぞれ自分がしたいことを出し、一人一人がプレゼンテーションをします。その中で、似通った者、あるいは議論をして絞り込んでいきますので、男女というよりは、興味、関心のある者でグループができます。
- 委員 世界で活躍する理系女子を増やしてほしいです。
- 委員 素晴らしい取組だと思います。学校訪問に伺った折、生徒たちの授業態度に反映されていると感じました。この事業も8年目になりますが、教員のスキルアップや講習等はどうなっていますか。
- 高松一高校長 課題研究の指導については、SSHの指定を受ける以前から行っております。また、大学の先生との交流ですとか、SSH校同士の交流会、研究会にも出席しており自己研鑽を続けております。アクティブラーニングや評価の仕方については、教員研修を計画的に行っております。

- 委 員 分かりました。
- 委 員 他校への波及と言われましたが、地域企業と連携をしていただき、県外へ進学したとしても地元の企業に就職できる等、広く周知していただき、企業と学校、また、地域との連携を進めていただき、理系女子生徒が増えてほしいです。
- 高松一高校長 ありがとうございます。
- 教 育 長 一高の地域貢献を以前からお願いしておりますが、シート22にありますように、各種発表会への参加をしたり、また、県と一緒に「ごみが海を壊している!？」というような活動を発信しており、問題解決だけでなく、形あるものにしていくという、パフォーマンス課題を活用することにより、地域への発信、そして、社会貢献にもつながっていくと思います。もう一つは、中学校へのアピールです。一高で学びたいお子さんは大勢いらっしゃると思いますので、そういったところもお願いいたします。

教育長が日程第5 議案第17号について、日程第6 報告事項3について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、会議は公開しないことを各委員に諮り、非公開とすることに決する。

日程第5 議案第17号

議案第17号 「高松市就学指導委員会委員の委嘱について」

<非公開審議、内容不記載>

日程第6 報告事項3

報告事項3 「高松・木田・香川採択地区協議会の運営について」

<非公開審議、内容不記載>

午前11時07分 閉会

議決事項

「高松市教育委員会教職員の働き方改革プランについて」

「高松市学校結核対策審議会委員の委嘱について」

「高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について」

「高松市就学指導委員会委員の委嘱について」